

認 定 書

国住指第 4484 号
平成 25 年 3 月 26 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役 守谷 承弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0679
2. 認定をした構造方法等の名称
給・排水管・ケーブル／アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

給・排水管・ケーブル/アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ポリゴムシート充てん/壁耐火構造/貫通部分(中空壁)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位: mm)

項 目	申 請 構 造
開口部	(形状)円形 (面積)硬質塩化ビニル管 さや管(架橋ポリエチレン管・ケーブル) さや管(ポリプロピレン管・ケーブル) さや管(ポリブテン管) さや管(架橋ポリエチレン管) さや管(ポリプロピレン管) ポリブテン管 架橋ポリエチレン管 ポリプロピレン管 金属強化ポリエチレン管 被覆付架橋ポリエチレン管 被覆付ポリプロピレン管 } 0.00196m ² 以下(φ0.05m以下) } 0.00125m ² 以下(φ0.04m以下)
占積率 (開口面積に対する給・排水管・ ケーブル断面積の総合計の割合)	硬質塩化ビニル管 57.76%以下 さや管(架橋ポリエチレン管・ケーブル) さや管(ポリプロピレン管・ケーブル) さや管(ポリブテン管) さや管(架橋ポリエチレン管) さや管(ポリプロピレン管) ポリブテン管 架橋ポリエチレン管 ポリプロピレン管 金属強化ポリエチレン管 被覆付架橋ポリエチレン管 被覆付ポリプロピレン管 } 70.56%以下 } 72.25%以下 } 64.00%以下 } 60.06%以下
貫通する壁の構造	中空壁 (両面せっこうボード 厚12.5以上重張) (両面に厚8以上のスラグせっこう系セメント板の上に 厚12以上のせっこうボードを張ったもの) (両面に厚16以上の強化せっこうボードを張ったもの) (両面に厚12以上の強化せっこうボードの上に厚9 以上のせっこうボード又は難燃合板を張ったもの) (両面に厚9以上のせっこうボード又は難燃合板の上に 厚12以上の強化せっこうボードを張ったもの) } 厚さ 100以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

項目		申請構造				
給・排水管・ケーブル(開口形状・円形)	被覆付	被覆材	被覆フィルム	エストラマ樹脂		
		架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787		
			外径	31.0 以下		
			内径	20.5 以下		
			本数	1 本以下		
		ポリプロピレン管	外径	31.0 以下		
	内径		20.5 以下			
	本数		1 本以下			
	さや管付	さや管	材質	ポリエチレン系樹脂		
			外径	42.0 以下		
			内径	36.0 以下		
		内管	(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)①③④の組合せ (2)①③の組合せ (3)②③④の組合せ (4)②③の組合せ			
			①架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787	
				外径	17.0 以下	
		内径		12.8 以下		
		②ポリプロピレン管	外径	17.0 以下		
			内径	12.8 以下		
			本数	2 本以下		
		③ケーブル	材質	(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエチレン絶縁ポリエチレンシース ・規格 JIS C 3401, JIS C 3605 (2) ポリエチレン絶縁ビニルシース ・規格 JIS C 3401, JIS C 3605 (3) 架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシース ・規格 JIS C 3401, JIS C 3605 (4) 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース ・規格 JIS C 3401, JIS C 3605 (5) ビニル絶縁ビニルシース ・規格 JIS C 3342, JIS C 3401 (6) シースなし		
				構成	0.3mm ² ×3 芯以下	
	外径			6 以下		
	本数			1 本以下		
	④ラッピング			ラッピングテープ	材質	アルミニウム箔/PETフィルム
					厚さ	0.023 以上
ラッピング	粘着テープ	幅	30 以上			
		枚数	1 枚以下			
		材質	PETフィルム			
		厚さ	0.025 以上			
さや管付	さや管	材質・形状	上記と同じ			
		ポリブテン管	規格	JIS K 6778, JIS K 6792		
	外径		34.0 以下			
	内径		28.1 以下			
	架橋ポリエチレン管	本数	1 本以下			
		規格	JIS K 6769, JIS K 6787			
		外径	34.0 以下			
	ポリプロピレン管	内径	26.0 以下			
		本数	1 本以下			
		外径	34.0 以下			
内径		26.0 以下				
	本数	1 本以下				

注) 規格は被覆を除く素管の規格を示す

(寸法単位：mm)

項 目		申 請 構 造		
給・排水管 (開口形状・円形)	直通管	硬質塩化ビニル管	規 格	JIS K 6741, JIS K 6742
			外 径	38.0 以下
			内 径	31.0 以下
		ポリブテン管	規 格	JIS K 6778, JIS K 6792
			外 径	42.0 以下
			内 径	34.9 以下
		架橋ポリエチレン管	規 格	JIS K 6769, JIS K 6787
			外 径	34.0 以下
			内 径	26.0 以下
		ポリプロピレン管	外 径	34.0 以下
内 径	26.0 以下			
本 数	1 本以下			
金属強化ポリエチレン管	材 質	ポリエチレン系樹脂・ポリエチレン系接着剤・アルミニウム・ポリエチレン系接着剤 ポリエチレン系樹脂		
	外 径	32.0 以下		
	内 径	26.1 以下		
		本 数	1 本以下	

注) 規格は被覆を除く素管の規格を示す

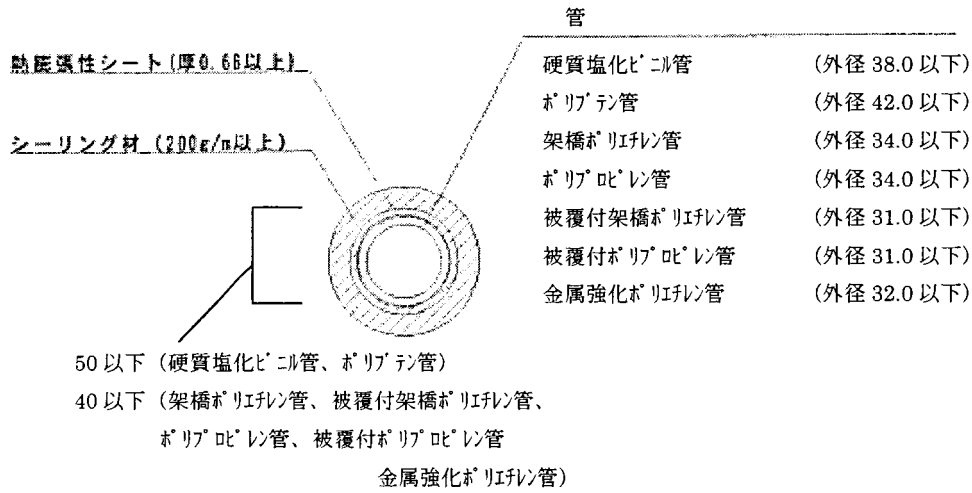
項目	申請構造			
防火措置材料	膨張材 (以下、熱膨張性シートという)	総厚さ	0.66以上	
		幅	60～62 (壁面よりはみ出し10以下)	
		基材	厚さ	0.16 \pm 0.015, 0.14 \pm 0.015
			幅	60～62
		構成	アルミニウムはく積層紙	
			(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする (1)アルミニウムはく 0.015 \pm 0.002 ポリエチレン層 0.02 \pm 0.002 上質紙 0.105 \pm 0.004 ポリエチレン層 0.02 \pm 0.002 ・厚さ 0.16 \pm 0.015 (2)アルミニウムはく 0.015 \pm 0.002 ポリエチレン層 0.02 \pm 0.002 上質紙 0.095 \pm 0.004 ポリエチレン層 0.02 \pm 0.002 ・厚さ 0.14 \pm 0.015 (加工圧縮のため)	
	シート	厚さ	0.5以上	
		幅	60～62	
		組成 (質量%)	黒鉛含有フタルゴムシート	
シーリング材	規格	JIS A 5758		
	材質	(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする (1)アクリル系樹脂 (2)アクリルウレタン系樹脂 (3)ポリウレタン系樹脂 (4)シリコン系樹脂 (5)変性シリコン系樹脂 (6)ポリサルファイト系樹脂 (7)変性ポリサルファイト系樹脂		
		使用量	200g/m以上	

4. 構造説明図

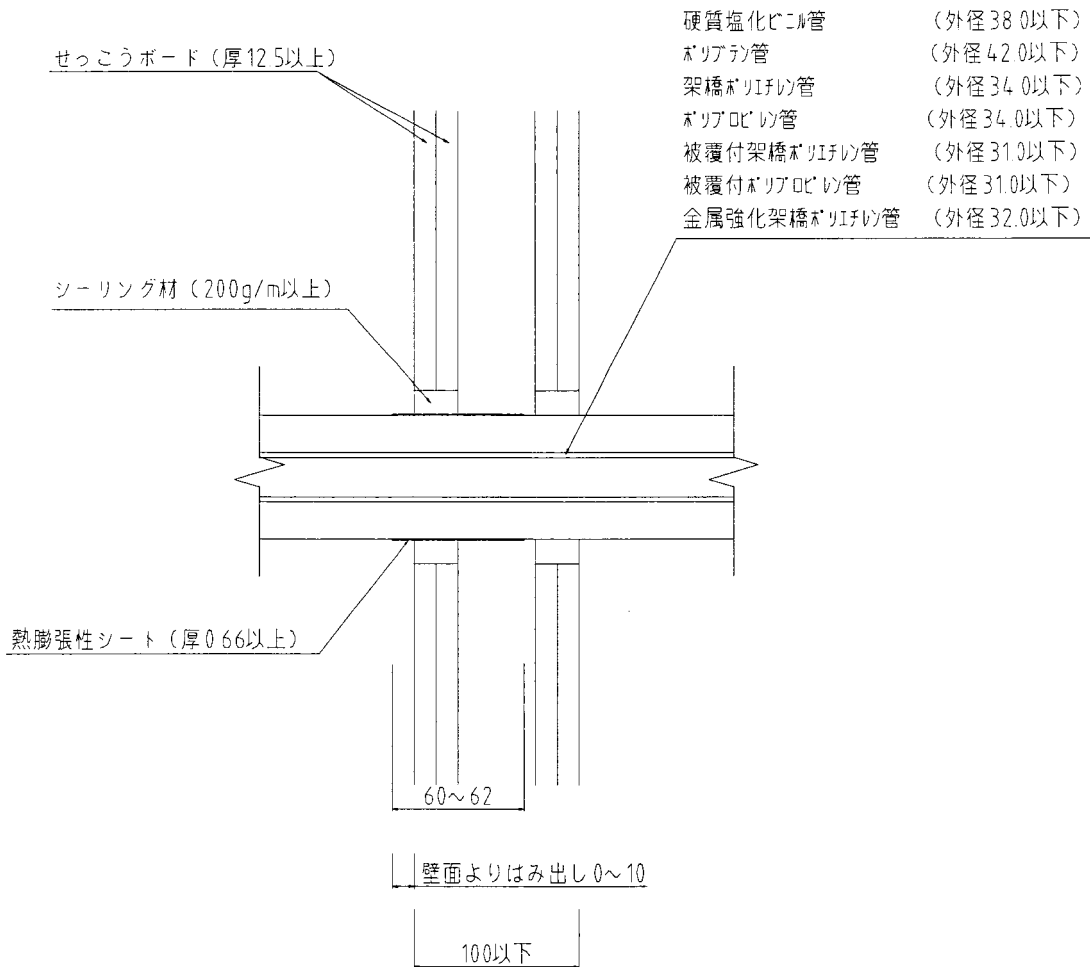
A. さや管なしの場合

(寸法単位：mm)

<正面図>



<断面図>

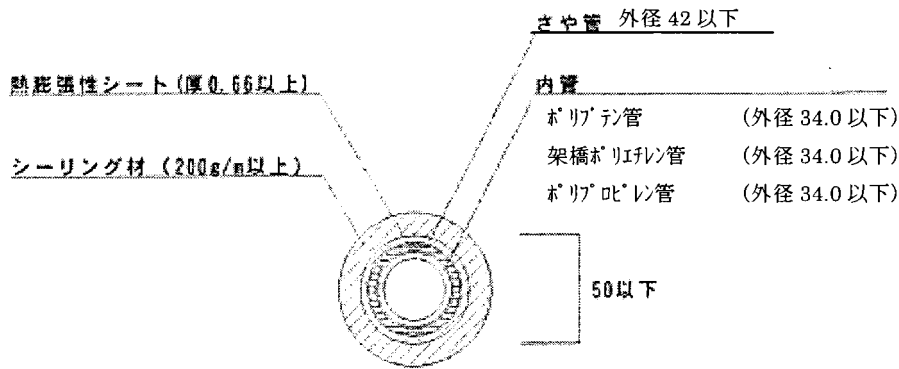


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

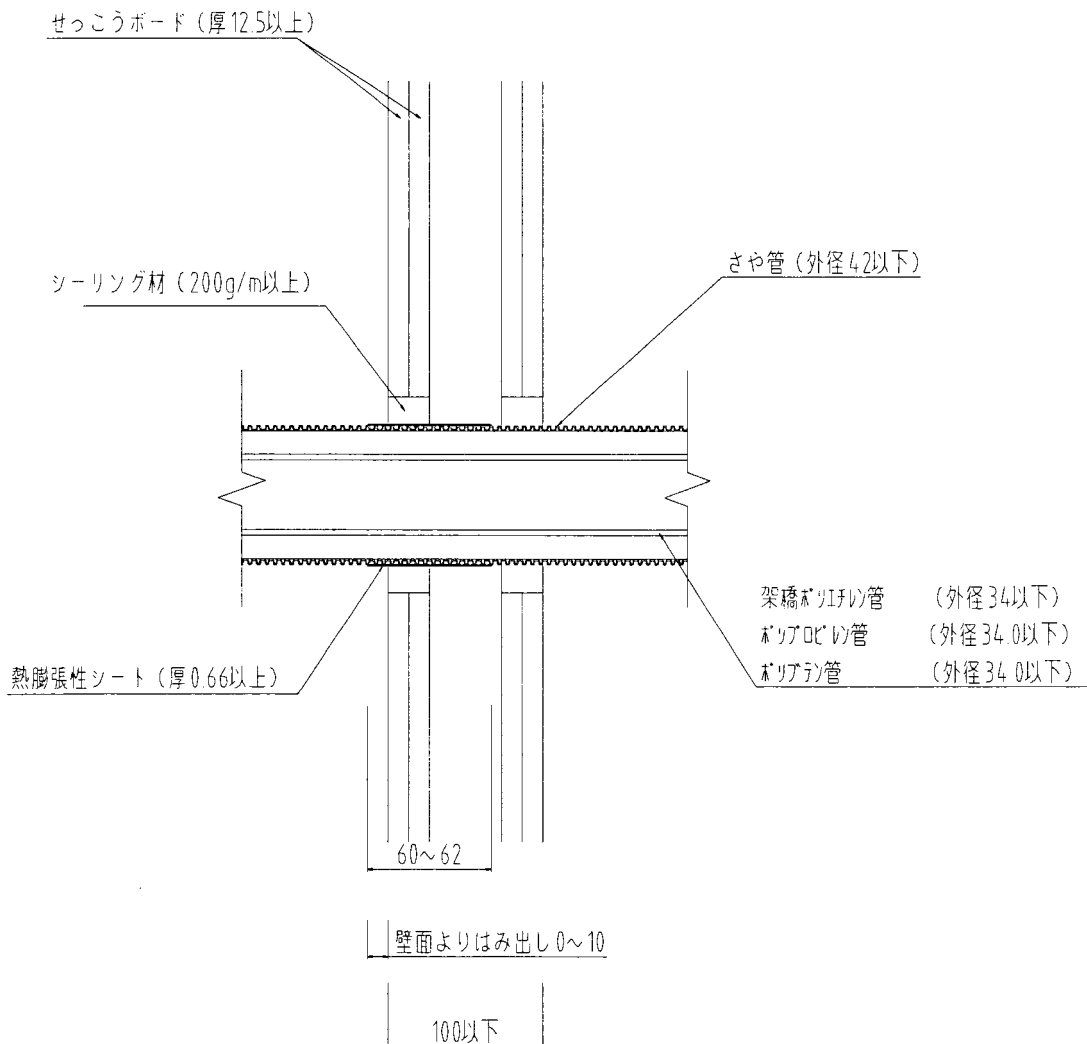
B. さや管付（ケーブルなし）の場合

（寸法単位：mm）

<正面図>



<断面図>

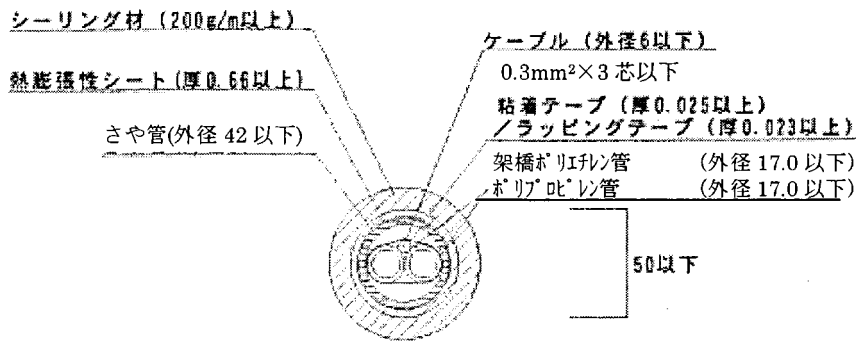


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

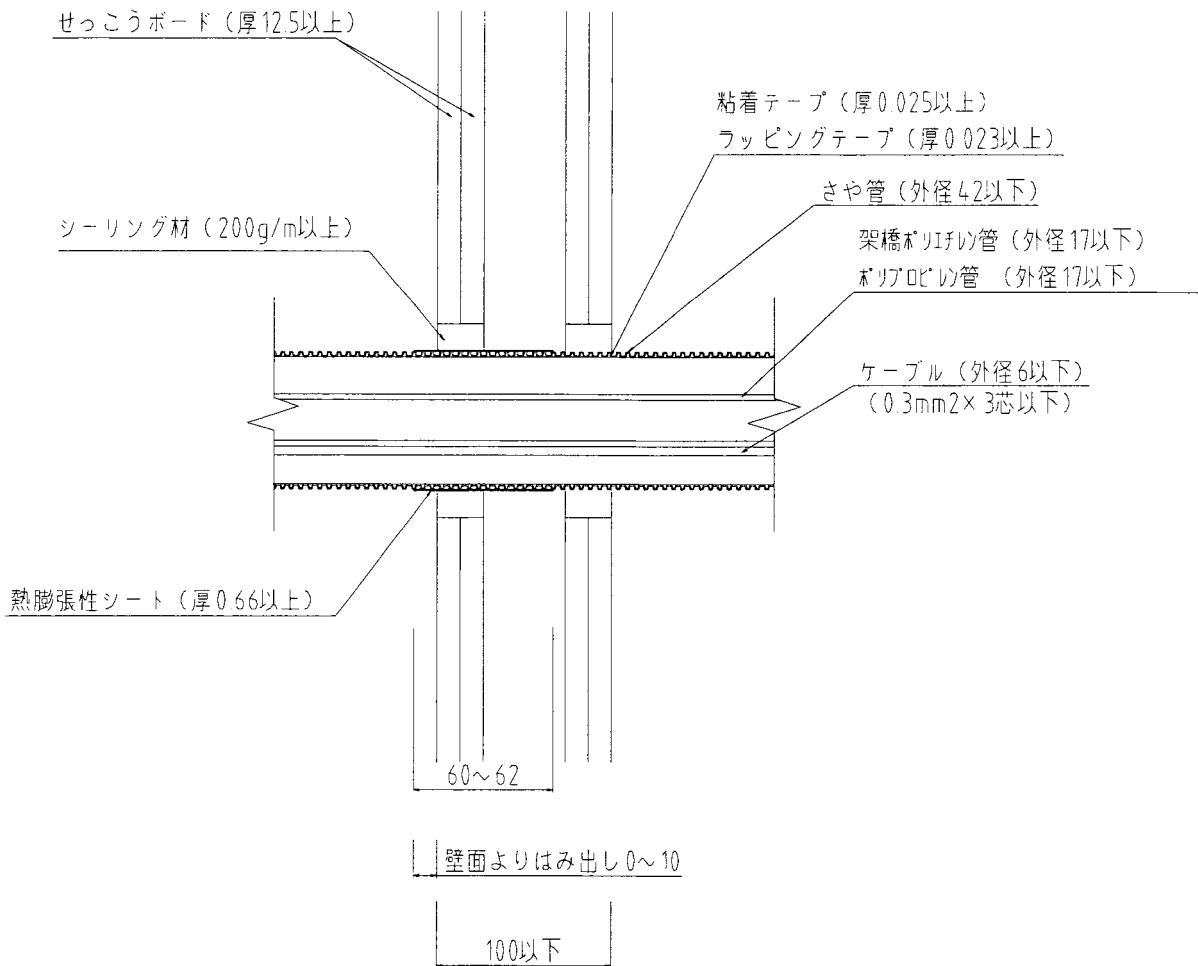
C. さや管付（ケーブルあり）の場合

（寸法単位：mm）

<正面図>

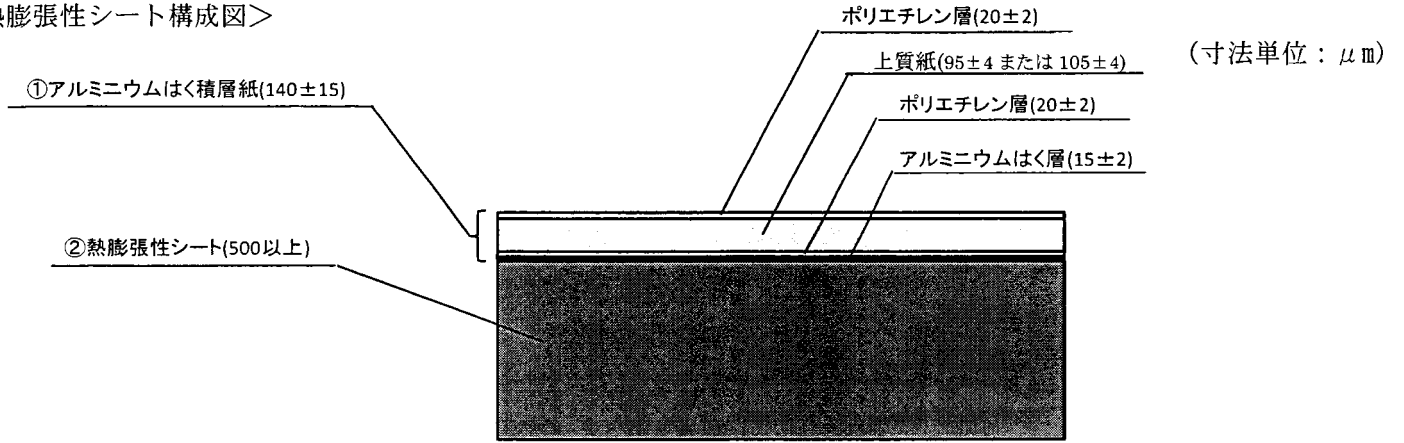


<断面図>



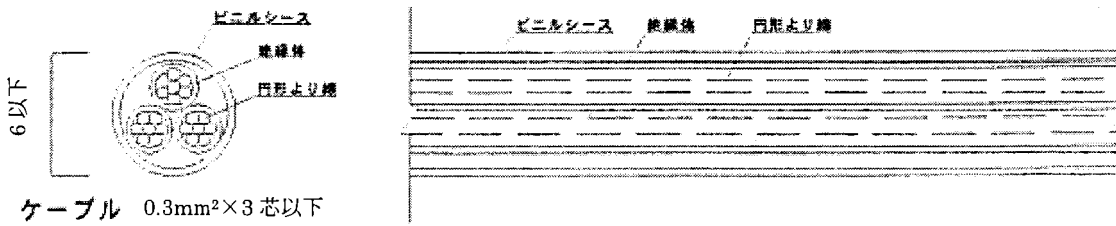
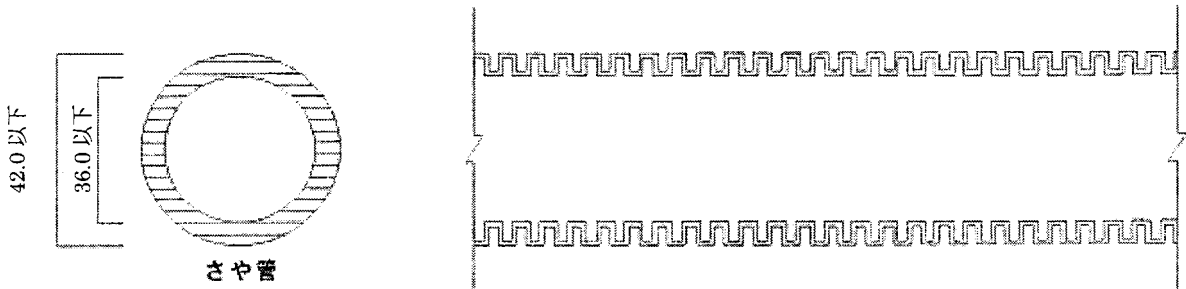
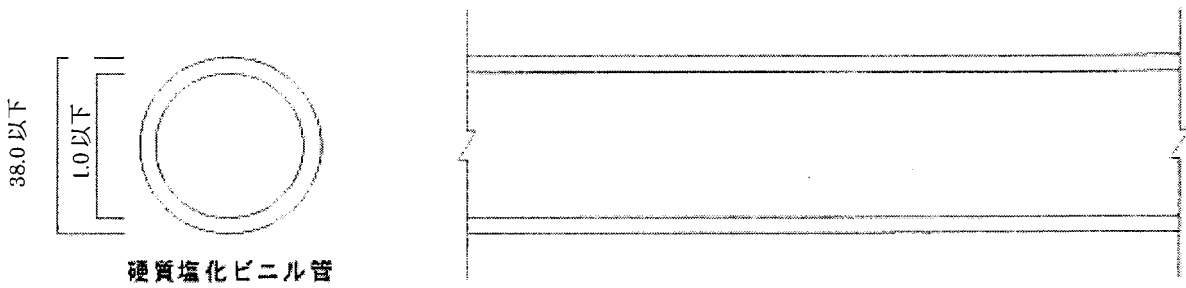
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

<熱膨張性シート構成図>

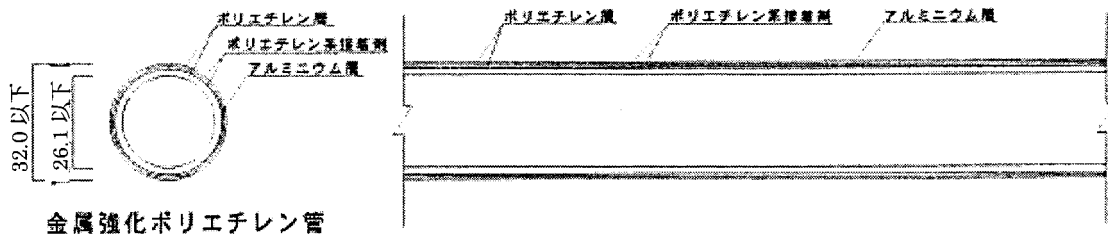
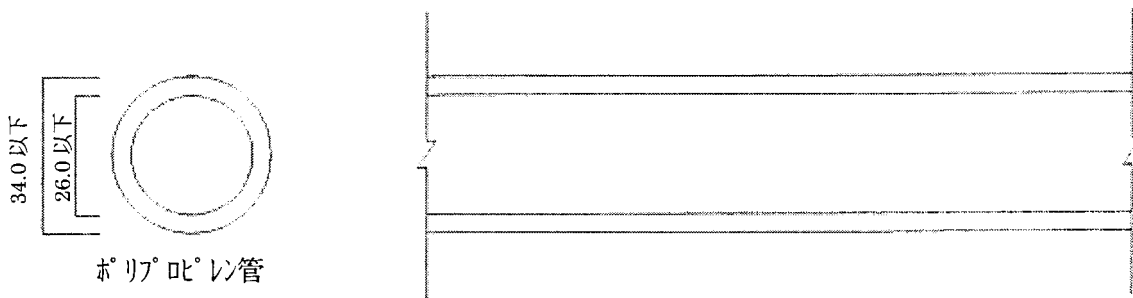
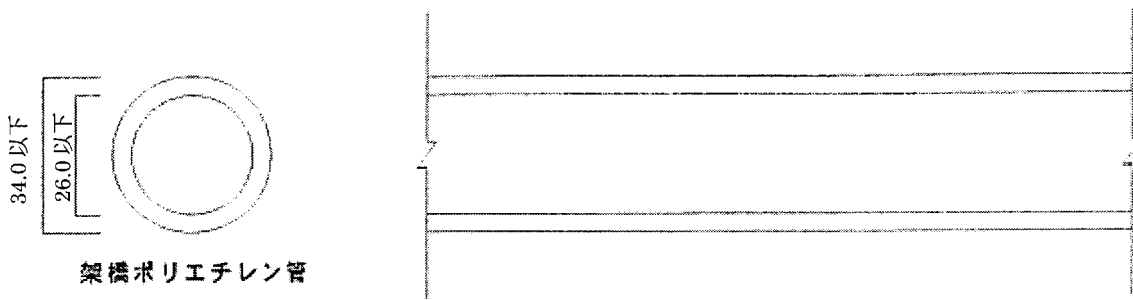
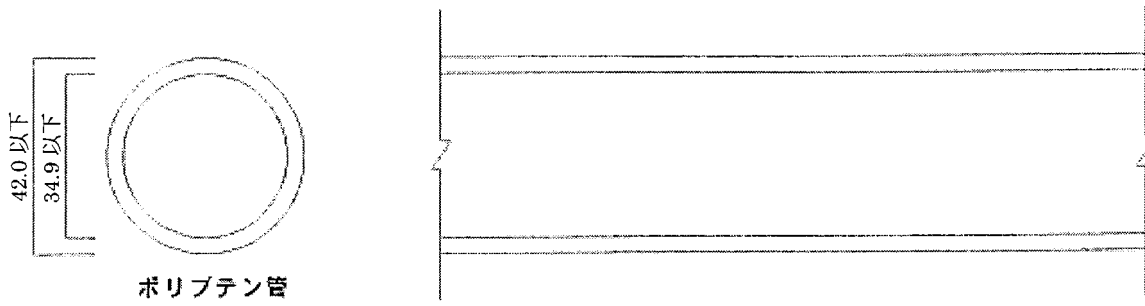


<管>

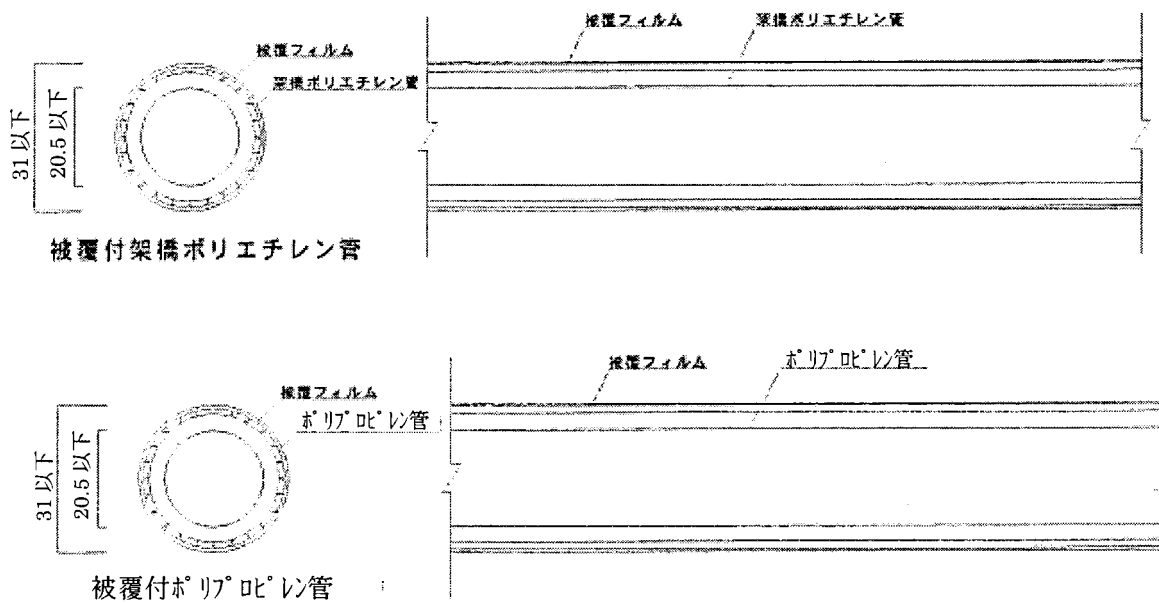
(寸法単位: mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

図1 構造説明図

5. 施工方法等
＜施工手順＞

1) 貫通開口部の設定

配管サイズ、占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

2) 区画貫通処置

2) -1 配管前の場合

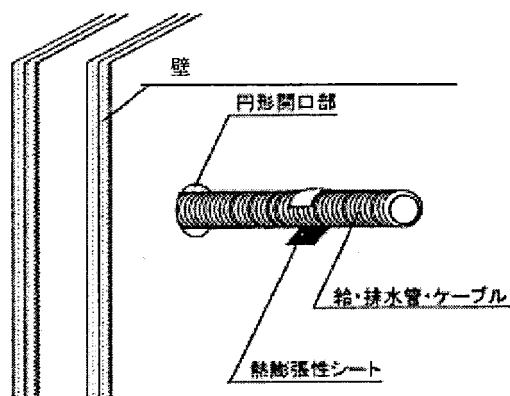
①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

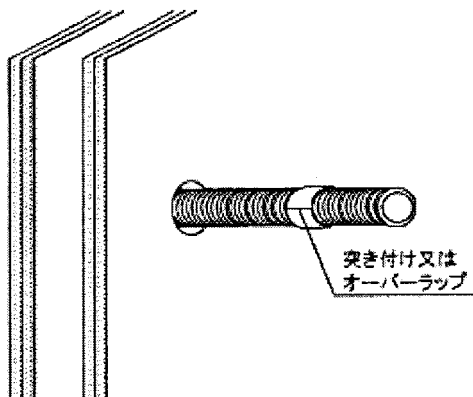
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度（壁面より0～10mm）の位置となるようにする。

②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。



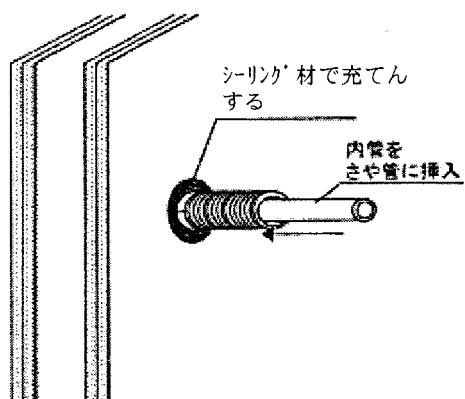
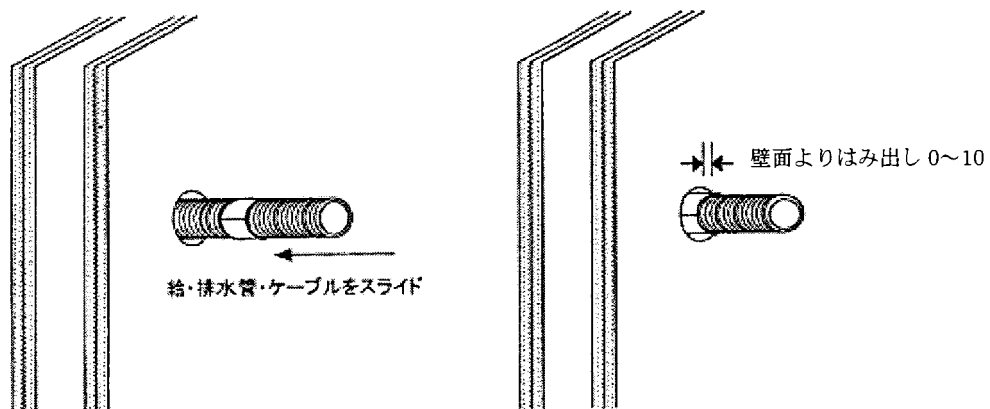
また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける（オーバーラップ可）。



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

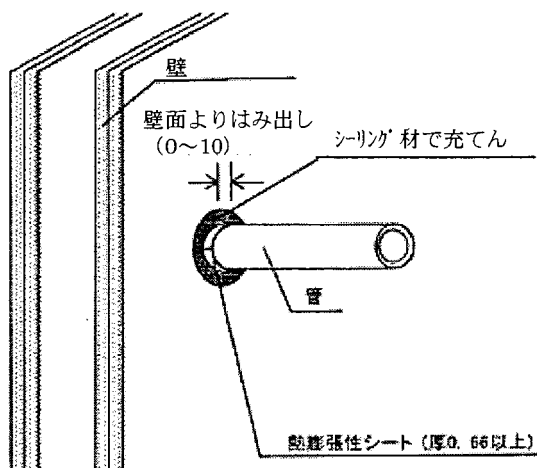
③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、両壁面側の隙間をシーリング材で充てんする。

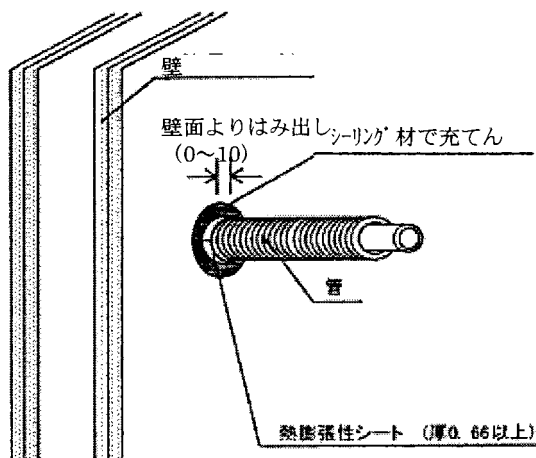


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

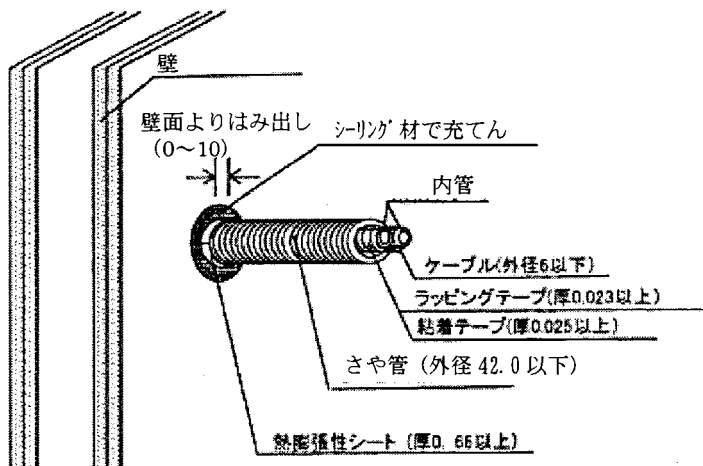
・ A. さや管なしの場合



・ B. さや管付 (ケーブルなし) の場合



・ C. さや管付 (ケーブルあり) の場合



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり